

行政評価

【使命1】文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

【評価できる点】

- ・貸館利用率のうち、大ホール利用率 89.6% (前年度 95.7%) 及び小ホール利用率 81.7% (前年度 89.1%) は減少しているものの、総来場者数は、242,989 人 (前年度比 102.4%) と増加傾向にあることは評価できます。
- ・ホールの空きを活用した「マイ練習プラン」により、グランドピアノを個人で演奏可能な事業を実施し、利用率向上だけでなくグランドピアノをホールで演奏するという市民の創作活動のための機会の提供している点を評価します。また、LINE を活用した情報発信も積極的に行っています。
- ・ステージコンシェルジュサービス等の利用者ニーズに対応した取組により、専門スタッフによるきめ細かなアドバイスやサポートによって利用者満足度を高めている点を評価します。
- ・主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施により、利用者の声を聞き、施設運営に活かしています。また、アンケートは紙アンケートだけでなく、QR コードからの WEB アンケートも取り入れており、アンケート結果の分析のしやすさも意識しています。

【より一層の取組を期待する点】

- ・総来場者数は増加しているものの利用率は前年度から減少しているため、利用促進に努め、活用してもらえるように、より一層周知方法について創意工夫を図ってください。
- ・利用者アンケートに寄せられた意見について、公演中のマナーに関するものがいくつか確認されています。利用者のモラルに依る部分が大きいですが、多くの人が楽しめるよう施設として引き続き注意喚起などに取り組んでください。

【使命2】文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

【評価できる点】

- ・鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数は目標値及び前年度実績を大きく上回っており、自主事業の実践によって、利用者が文化芸術に触れる機会を創出していることを評価します。
- ・これまでコロナ禍の影響もあり、令和4、5年度はアウトリーチ事業を実施できていませんでしたが、関内寄席「ここの4人」のコンテンツについて、他施設や商店街イベント等にて開催し、運営支援を行った点を評価します。
- ・関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携プロジェクトとして、障がいの有無に関係なく共にダンスを創るスクランブル・ダンスプロジェクト公演を実施し、共生社会の実現を目指す取組内容を高く評価します。
- ・実施事業の来場者アンケートでは、高い満足度を維持しています。アンケート結果をよく分析し、改善点や利用者ニーズをしっかりと把握し、良質な鑑賞機会の提供により更なる満足度の向上に努めてください。

【より一層の取組を期待する点】

- ・体験型事業については、実施回数が目標値と乖離している状況です。利用者ニーズを分析したうえで、魅力的な事業の実施を望みます。
- ・留学生交流音楽祭の実施協力については、当初計画していたものの主催元の都合により未実施となっています。関係者と連絡を密に取り計画的に進めるとともに、実施が難しい場合は他の事業を企画する等、ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞の機会を提供の継続を期待します。

【使命3】次世代を担う人材を育む

【評価できる点】

- ・公募の市内の子どもたちによるミュージカルや0歳から鑑賞できるファミリー向けコンサート等のような子どもをターゲットにした事業を数多く展開することで、子どもが文化芸術を体験する機会を提供し、次世代育成に寄与している点を評価します。
- ・人材育成面では、横浜出身の二ツ目4人を中心とした若手落語会の実施や若手ミュージシャンの発掘及び育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会の提供等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援をしている点を評価します。
- ・学校プログラムへの参加によって、合唱や箏の講師を小・中学校へ派遣することで音楽鑑賞の機会を創出し、文化芸術への興味をきっかけ作りに寄与しているとともに、講師を務める声楽家や箏曲家にとっても活動の幅を広げる機会を提供している点を評価します。
- ・事業に参加した人のアンケートによって、各事業の事業企画や広報へ役立てるための参加者の属性分析を行っている点を評価します。分析結果の情報を次の取組に活かせるように継続してください。

【より一層の取組を期待する点】

- ・ジャズ喫茶「ちぐさ」と連携する新人ジャズミュージシャンの登竜門とされる「ちぐさ賞ライブ」は残念ながら中止になってしまったため、関係者と調整し、計画的に取組を進めていくことを期待します。

【使命4】地域のにぎわいを創出する

【評価できる点】

- ・地元の馬車道商店街と協力し、「馬車道まつりアートフェスタ」、「あいすくりーむ発祥記念の日」の関連事業開催や、地元企業や近隣大学とも地域連携事業等を展開し、地域に根付いたイベントとして継続して取り組んでいる点を評価します。
- ・tvk番組内告知や神奈川新聞の広告、スポットCMの放映等、共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動を行っている点を評価します。
- ・関内ホールイベントのチケットサービス「チケ得！」の推進によって馬車道商店街等の近隣のにぎわいづくりに積極的に取り組んでいる点を評価します。

【より一層の取組を期待する点】

- ・馬車道商店街をはじめ、近隣の団体との関係性を強化しています。関係性を継続していくことに加えて、そこから新たに生まれるネットワークを探っていくことにも期待します。

【使命5】利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

【評価できる点】

- ・日常的な点検や清掃等により、適切な施設の維持管理を行っているとともに、設備の不具合発生等についても市と適切に情報を共有し不具合の解消に努めています。
- ・施設職員や関係者の避難訓練の実施だけでなく、防災意識向上を図るための来場者参加型「避難訓練コンサート」の実施については高く評価します。引き続き災害時に備えた施設運営体制の構築をお願いします。

【より一層の取組を期待する点】

- ・修繕予算の施行率が目標値に対して低い実績となっています。今回は見込んでいた音響機器修繕が市による対応になったことによるものですが、予定が変更になった場合も含めて修繕が適切に実施できるように進捗管理をお願いします。
- ・設備の老朽化が進む中で、今後様々な修繕が想定されます。特に大規模改修にて実施していない舞台設備関係は、修繕費の規模が大きく、不具合が生じて直ちに工事着手することは難しいため、引き続き状況を把握し、保守保全に努めてください。

令和6年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務行政評価シート

その他

【評価できる点】

- ・全体収支額は黒字となっており、健全な施設運営がなされていることを評価します。引き続き計画的な執行管理を行ってください。
- ・効率的な施設運営をするために施設運営経験から得たノウハウを活かして管理費の削減に努めています。また、省エネルギー化を推進し、持続可能性を高める施設運営に取り組んでいます。

【より一層の取組を期待する点】

- ・利用料金収入は、予算額を超えているものの、前年度比では95.4%となっています。貸館利用率の低下による影響であると考えられるため、更なる貸館の利用促進を期待します。また、自主事業収入は前年度比では104.7%と増額しているものの目標値には未達となっています。これらの指定管理料以外の収入確保に努めてください。
- ・光熱費等をはじめとする物価高騰の厳しい状況は今後も見込まれるため、経費削減や収入増に繋がる取り組みについて、更なる創意工夫を期待します。

総括

- ・総来場者数が増加傾向にあるほか、グランドピアノを個人がホールで演奏可能な事業を実施し、利用率向上とともに市民の創作活動のための機会を提供している点を評価します。
- ・鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数は目標値及び前年度実績を大きく上回っていること及び3館連携プロジェクトによる、共生社会の実現を目指す事業実施を評価します。体験型事業については、今後の事業展開に期待します。
- ・子どもをターゲットとした文化芸術の体験機会の提供や、若手の活動機会の拡大支援など、次世代育成に寄与している点を評価します。
- ・地元の馬車道商店街のイベントに関連した事業実施や、公演チケット提示による近隣での消費拡大など、地域のにぎわい創出に寄与していることを評価します。今後も更なる連携強化や対象拡大などに期待します。
- ・適切な施設の維持管理を行っているとともに、防災意識向上を図るための来場者参加型「避難訓練コンサート」を実施したことについて評価します。